

北星学園大学

# 後援会だより

## VOL.125

発行日 2016年6月1日  
発行者 北星学園大学  
後援会事務局  
札幌市厚別区大谷地西2  
丁目3番1号 〒004-8631  
電話(011)891-2731  
印刷(社福)北海道リハビリ



### 新年度を迎えて — 新入生に期待する —

学長 田村 信一

今年も新しい年度が始まり、4月5日(火)にニトリ文化ホールで入学式を行うことができました。当日は、気持ち新たに、やや緊張した多数の新入生が参加し、保護者・ご家族の皆様も数多くご出席くださり、感謝申し上げます。ニトリ文化ホールは、五階席まで立錫の余地なく埋まり、壮観でした。

今年の冬は暖冬で積雪も少なく、キャンパスは雪も早く消え、記念プラザでは在学生のサークル勧誘が連日行われて盛況でした。今年の入学者数は以下の通り

です(カッコ内は2・3年次編入学者数)。文学部英文学科141(16)、心理・応用コミュニケーション学科107(7)、経済学部経済学科175(3)、経営情報学科121(4)、経済法学科134、社会福祉学部福祉計画学科105(4)、福祉臨床学科88(2)、福祉心理学74、短期大学部英文学科137、生活創造学科98。おかげさまですべての学部学科で定員を上回り、昨年より多くの学生を迎えることができました(定員の1・18です)。もともと、教育の質保証という観点から、こ

れ以上超過することには抑制的でないならばならないと考えています。さて、入学式でも触れましたが、近年、高等教育をめぐる議論が加速し、様々な改革が目白押しに提出されています。入試改革では、2019年から「高校基礎学力テスト(仮称)」、2020年に「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」が導入され、知識量重視から思考力や判断力、表現力を問う試験に変わることになっていきます。また、同じく2019年から、新たな「専門職大学」が設置されることになっています。こうした改革の背景には、経済のグローバル化が進展し、日本の産業や地方の衰退に対する危機感と人材を供給する大学の存在感の低下が存在しています。つい最近も、台湾のホンハイ精密工業によるシャープの買収が正式に決



### 可能性を求めて

後援会副会長 佐藤 順子

入学以来2ヶ月も過ぎ学園での生活に少し慣れてきた頃ではないでしょうか。

う間に過ぎてしまいます。ラーニング・コモンズなるものもあり大いに利用してください。

の困難もあったことでしょう。しかし、自由を尊重し、のびやかな思いを力一杯発揮させてくれたのは、この学園の基本理念があったからです。

いと申しますのも、私事で恐縮ですが、大学開設時の新入生で正確に申せば第一期生なのです。それ故大学の発展・発展を目的に当たりにして、教職員の方々の並々ならぬ努力・研究・学生を思いやる意気込みは衰えることなく、毎年毎年工夫がなされており、これから学園の発展は、そこで勉学に励む諸氏の努力如何にかかっております。それ故、違いを分かり最高学府としての知識を積み、また世に出て人に寄り添い、良き日本の国を作っていくことを期待しております。今年から選挙権は18才から行使できるなど、現実めまぐるしく変わっておりますので、社会・経済・世界観を養って頂きた

とを少しは理解できたでしょうか。中学・高校時代は、種々の束縛や規律で行動を限定され、他人と同じであることをよしとされてこられたのでしょうか、これからは自主性と行動力、興味疑問に向かって進むのが可能な時期なのです。

将来の大きな期待を持って、生徒ではなく学生、この時期は、ある意味学校や親・社会へ一歩踏み出すことのできる価値ある時間です。2年間・4年間はあつとい

今年度は新入生が1,229名となり、北星学園大学は大規模校となったのです。ニトリ文化ホール(昔の厚生年金会館)での入学式は、あふれんばかりの人数で圧倒されてしまいました。人数が多

く祈念いたしております。保護者の皆様には、後援会にご入会いただき御礼申し上げます。学生の教育活動援助、並びに諸先生方の活動にも大いに努力して参りたいと存じます。

### ◆◆◆ 後援会とは? ◆◆◆



北星学園大学後援会は、本学在学生のご父母全員と本学を卒業された方のご父母、ならびに本学の同窓生を正会員として構成されており、設立以来今年で32年目になります。

本会の目的は、北星学園大学、短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学・短期大学部のサポーター」としての活動を行っております。一例としては、図書館への図書等の寄贈、先生方の学術出版補助、国際交流経費補助、学術講演会や学会に対する補助などです。学生各種活動補助については、全国大会に出場する学生に対する補助や学生の就職活動支援、就職セミナー開催、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う器具等の購入なども行っています。

本会は「北星学園大学・短期大学部」とご父母とを結ぶパイプ役として、毎年地区別父母懇談会を道内7会場(札幌・函館・苫小牧・北見・旭川・帯広・釧路)で開催しており、大学の教職員による本学の教育方針やカリキュラムについての説明、個別に学生の修学状況等について面談を行っています。

後援会が開催するこれら各行事は、ご父母の皆様が北星学園大学、短期大学部について知る良い機会となっておりますので、多くの会員の皆様のご出席をお待ちしております。

なお、『後援会だより』は年4回発行し、大学の情報を皆様のお手元にお届けいたします。大学ウェブサイト内後援会ページ (<http://www.hokusei.ac.jp/supporter/>) でもご覧になれますので、ご高覧いただければ幸いです。

# 新入生からの言葉 大学生活にむけて



文学部 英文学科

## 前田 奈緒美 さん

入学式から約2週間が過ぎた今、私は期待と不安の気持ちで一杯です。いつの間にかできていた友達と新しい環境で過ごす日々はとても新鮮で楽しいです。しかし、入学したばかりの私には分からないことが多過ぎて今何をしたらいいのかすら分からなくなってしまう時があります。大学では全てが自己責任だという先生方の言葉が身に染みて、改めて自分はまだまだ子供だと痛感させられました。そこで私は、この『大学』という環境こそが自立した一人の女性になれるチャンスの場合だと考え、身の回りの些細なことも丁寧にこなす意識を持って少しでも理想の女性に近づけるように努力していきたいです。

入学してからわずかな期間しか経っていませんが、たくさんの素敵な大人の方に出会いました。親切かつ個性的な先生方は今まで出会ったことのないくらい魅力的で、苦手意識を持っていた教科の授業も楽しみに変えてくださいました。理解できなかった履修登録やサークル活動について詳しく教えてくれた先輩方は、年齢は大して変わらないのにずっと大人に見え、尊敬できる人ばかりです。こんなにも素敵な大人たちが身近にいる環境で学べることへの感謝の気持ちを忘れず、これから始まる4年間を充実したものにしていきたいです。



経済学部 経営情報学科

## 松田 茉奈 さん

入学からの2週間は、履修登録や教科書販売、奨学金の申し込み、学生カードの提出など、慣れない環境の中で様々な締め切りに追われ、あっという間に過ぎてしまいました。わからないことを把握できないほど多忙なうえ、知り合いもあまりなくてこれからの大学生活に不安が募るばかりでしたが、授業ごとにいろんな人と話し少しずつ慣れてきたように思います。

新入生誓いの言葉でも申し上げた通り、私には将来の夢も目標もまだありません。今までは目先にある、しなくてはならないことで手一杯になってしまい、先を見通すことができませんでした。そのため周りの人が夢や希望を話している姿を見ると焦りや恐怖さえ覚えていました。断言はしませんが、目指すものがなければやる気は伴わないものだと思います。少なくとも私はそうです。しかし社会に猶予されていることに甘えていられる期間は残りわずかになってしまいました。そこで私はこの大学で、視野を広げ、目標を見つけることを第一の目標にします。

来年、再来年、さらにその先の自分が後悔しないよう勉学に励み、実りのある4年間にしていきたいです。そしてそのような環境に身を置くことに感謝も忘れずにしたいと思います。



経済学部 経済法学科

## 糸川 銀河 さん

入学してから1、2週間は驚くほど早く過ぎました。最初は、履修登録など高校と違った環境にすぐには慣れることができませんでした。わからないことが多く、不安でいっぱいでしたが、頼れる先輩や教職員の方々が親切に履修登録のことを教えてくださって、不安はなくなりました。心強い先輩たちや教職員の方々のおかげで、今はとても充実した大学生活を過ごしています。

私は、野球部に所属し、アルバイトもしています。学生としては、3つの両立はとても忙しく大変ではありますが、全てにおいて怠らず完璧な人間を目指していきます。大学生は時間の使い方がとても重要だと思います。無駄な時間は作らず、有意義な大学生活を送っていきたくと思います。色々な誘惑や上手くいかないことがあると思いますが、自分の意思をしっかりと持ち、自分が成長できるチャンスだと思って努力をしていきます。

恵まれた環境に感謝し、勉学と部活動に励みながら大学生活を楽しみ、濃密な4年間となるように精一杯努力していきます。



短期大学部 英文学科

## 木元 絢美 さん

入学してから約1か月が経ち、不安だった大学生活にも慣れてきました。高校とは全く違う授業やシステムに自分が大学生になったということを改めて感じています。友人も沢山でき、毎日楽しい日々を送っています。サークルでは、とても優しい先輩方に勉強だけでなく生活やアルバイトなどのお話を聞かせてもらいました。

大学生活の目標は、「常にベストを尽くす」です。高校時代、先輩が言った言葉があります。「勉強を言い訳に部活を妥協するな、部活を言い訳に勉強を妥協するな。」この言葉は常に私を支えています。私は編入学を目指していますが、勉強を言い訳にサークル活動で先輩に迷惑はかけません。やると決めたことは最後まで責任を持ってやりたいと思います。周りに流されず、常に自分に刺激を与え、両立しながら充実した大学生活を送りたいと思います。この北星学園大学で一人の大人として成長し、両親に感謝の気持ちを伝えたいです。

### 組織紹介

|                     |       |              |        |
|---------------------|-------|--------------|--------|
| 学長                  | 田村 信久 | 学生相談センター長    | 鳴澤 あかね |
| 副学長                 | 濱 保久  | 学習サポートセンター長  | 中嶋 輝明  |
| スミス・ミッショントラセンター長    | 日高 嘉彦 | 総合情報センター長    | 金子 大輔  |
| 文学部長                | 日高 嘉彦 | 社会連携センター長    | 篠田 優   |
| 文学部研究科長             | 日高 嘉彦 | 心理臨床センター長    | 西山 薫   |
| 図書館長                | 日高 嘉彦 | 広報委員長        | 竹村 雅史  |
| 経済学部長               | 日高 嘉彦 | アクセシビリティ支援室長 | 田実 潔   |
| 経済学研究科長             | 日高 嘉彦 | 事務局長         | 樋田 繁治郎 |
| 学生支援委員長             | 日高 嘉彦 | 事務局次長        | 山本 一博  |
| 総合研究センター長           | 日高 嘉彦 | 大学事務部長       | 桑原 大幸  |
| 社会福祉学部長             | 日高 嘉彦 | 法人課長         | 前村 俊一郎 |
| 社会福祉学研究科長           | 日高 嘉彦 | 1R広報戦略室長     | 越田 実   |
| 短期大学部長              | 日高 嘉彦 | 総務人事課長       | 今 康昭   |
| 経済学部長               | 日高 嘉彦 | 財務課長         | 高橋 章   |
| 経営情報学部長             | 日高 嘉彦 | 教育支援課第一課長    | 笠松 英雄  |
| 経済法学科長              | 日高 嘉彦 | 教育支援課第二課長    | 佐々木 薫  |
| 福祉計画学科長             | 日高 嘉彦 | 教育支援課第三課長    | 宗石 依久子 |
| 福祉臨床学科長             | 日高 嘉彦 | 学生生活支援課長     | 遠藤 善潤  |
| 福祉心理学科長             | 日高 嘉彦 | 国際教育課長       | 川島 善孝  |
| 短期大学部               | 日高 嘉彦 | 就職支援課長       | 鈴木 克知  |
| 英文学科長               | 日高 嘉彦 | 社会連携課長       | 田中正博   |
| □P.A.R.T.E.・ゲーティングス | 日高 嘉彦 | 研究支援課長       | 五十嵐 明  |
| 短期大学部               | 日高 嘉彦 | 情報システム課長     | 高野 正明  |
| 生活創造学科長             | 日高 嘉彦 | 司書課長         | 宮川 淳子  |
| センター長               | 日高 嘉彦 | 入試課長         | 桐山 城太郎 |
| 入学試験センター長           | 日高 嘉彦 |              |        |
| キャリアデザインセンター長       | 日高 嘉彦 |              |        |
| 国際教育センター長           | 日高 嘉彦 |              |        |

# 入学式開催

4月5日（火）の午後1時より、2016年度の入学式がニトリ文化ホールで開催されました。

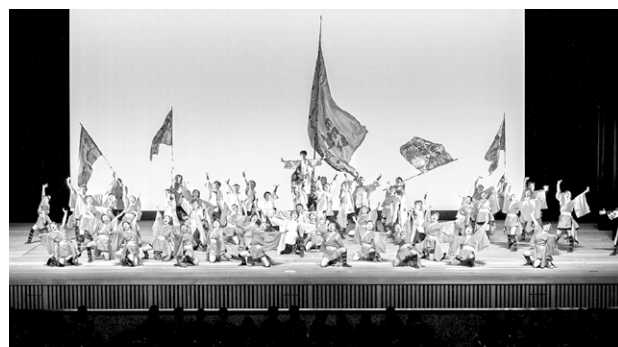
当日は、数年ぶりに暖かな陽気に恵まれ、例年以上に多くの保護者の方々が出席してくださり、会場は満席となりました。そのなかで、大学3学部と短期大学部、大学院を含めた新入生総数約1,200名が、緊張した面持ちで晴れの日を迎えました。オルガンの前奏によって始まり、一同による讃美歌「いつくしみ深き」の合唱の後、チャプレンが聖書朗読と祈禱をされました。学長の式辞、理事長の祝辞、在学生代表からの歓迎の言葉と続き、その後、大学・短期大学部の各新入生代表が、それぞれ誓いの言葉が述べました。谷川俊太郎氏作詞の学歌が吹奏楽部とチャペル・クワイアにより披露され、その後再び一同で讃美歌「きみのたまものと」を合唱しました。最後は、チャプレンによる祈禱と、オルガンの後奏によって約1時間の入学式は無事終了いたしました。



また今年度より、式終了後に本学演舞同好会によるYOSAKOI演舞が披露され、会場を沸かせました。

式を終えた新入生達は、ほっとした様子でご父母の方と楽しそうに会話をする姿や会場の前で記念撮影をする姿などが数多く見られました。その表情には、これから始まる北星学園大学での生活に対する大きな希望が満ちていました。

大学生活の中にはたくさんの可能性が広がっていることと思います。自らの可能性を最大限活かし、そこで得たものが一生の宝物となるように、充実した日々を過ごしていただけるよう願っております。



## ◆ご相談ください◆

### ～学費納入について～

授業料等学費につきましては、毎年、期限までの納入をお願いしているところですが、学費に関する諸制度についてお知らせいたします。

詳細は今年度のキャンパスガイド 20～22頁（学生への配付冊子）、及びキャンパスガイドWEB (<http://cgw.hokusei.ac.jp/>) → 「奨学金・学費・実習費」 → 「学費とQ&A」 「奨学金」をご参照ください。

### ■各種減免制度

#### ○兄弟姉妹等同時在学減免

兄弟・姉妹等で同時に2名以上が1年を通じて在学されている場合、そのうちお一人以外の方の「教育充実費」及び「後援会費」を全額免除いたします。願出にあたっては、戸籍謄本の添付をお願いしております。財務課までお申し出ください。

#### ○身体・精神障害者減免

学部、大学院又は短期大学部の学生で身体障害者手帳もしくは精神障害者手帳をお持ちの場合は「教育充実費」の2分の1を免除いたします。財務課までお申し出ください。

#### ○修学困難者減免

学費負担者（主として家計を支えている者）の死亡・病気・自己都合以外の理由での失職（解雇・倒産等）や災害等により経済的に修学が困難になった学部又は短期大学部の学生に対する減免制度です。それぞれの状況により条件が異なりますので、学生生活支援課までご相談ください。

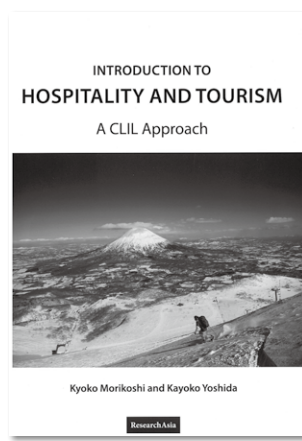
#### ■学費延納制度

万が一、家計の事情等で期限までの納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延延することが可能です。財務課までご相談ください。

## 学術出版の紹介

### 『Introduction to Hospitality and Tourism: A CLIL Approach』

短期大学部英文学科 森越 京子 教授



本書は、観光ホスピタリティの分野について英語で執筆した入門書であり、世界の観光産業の現状とアジアでの観光の発展と重要性について、さらに関連したトピックを体系的にまとめたものです。巻末には、専門用語や概念を英語で学ぶことができるようにキーワードや参考文献、ウェブサイト掲載しています。英語を母語としない学習者がこの分野について学ぶときに初めに手にとって欲しいと願いを込めて経済学部の吉田かよ子教授と共著で作成しました。これまでヨーロッパや米国の人々の視点で書かれることが多かった分野に、アジアや日本からの視点を取り入れ、さらに、アジアでの観光ホスピタリティ産業の事例や将来性についての話題を多く取り入れました。

本書を“A CLIL (Content and Language Integrated Learning) Approach”としたのは、観光ホスピタリティ分野を学ぶに際し、この分野に必要な知識と専門用語を英語で習得していく統合的手法を用いたからです。

共著者二人による科学研究費助成研究「グローバル連携による専門性と語学力強化を図る『ホスピタリティ教育』教授法の研究（科研費24501167）」から始まった取り組みが、北星学園大学後援会から出版助成を賜ることによってこのような一つの形として完成したことに心より感謝いたします。また、本学短期大学部の皆様をはじめご協力いただきました多くの方にも感謝申し上げます。今回シンガポールの出版社Market Asia社との出会いから海外での出版が可能になり、日本だけでなく様々な国で本書が活用されることを願っています。大学後援会事務局には、海外企業との煩雑な手続きに迅速にご対応いただいたことに御礼申し上げます。

## 大学後援会からのプレゼント



後援会では毎年、卒業生と新入生の皆さんに記念品を贈呈しております。2015年度は卒業生に『卒業記念PHOTOBOOK』をお贈りいたしました。ゼミ、クラス、サークル集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校に対する関心と愛着を持っていただくツールとなっております。

また、新入生には『カード型USBメモリ&文具セット』をお贈りいたしました。本体に北星学園大学の校章とロゴがデザインされているオリジナル製品です。今後の大学生活において有効にご活用いただければと思います。

校章の形は、ライラックの花びらをシンボリックに表現しています。星のまわりの5つの矢印は、本学の教育方針である人間性、社会性、国際性、そして希望と発展を意味しています。校章に込められた意味を理解し、より充実した大学生活を送っていただけるよう願っております。

# 2016年度 行事予定

|           |  |           |   |            |   |
|-----------|--|-----------|---|------------|---|
| <b>3月</b> | 31日(木) オリエンテーション<br>(~4月7日)  | <b>7月</b> | 2日(土) 第1回札幌地区父母懇談会<br>(大学3・4年次、短大部2年次対象)  | <b>10月</b> | 8日(土) 大学祭(~11日)<br>22日(土) 第2回札幌地区父母懇談会<br>(全学年対象)                         |
| <b>4月</b> | 2日(土) 定期健康診断(~6日)<br>5日(火) 入学式<br>8日(金) 履修登録開始(~14日)<br>前期授業開始                         | <b>8月</b> | 1日(月) 『後援会だより』第126号発行<br>前期授業終了<br>2日(火) 前期定期試験(~10日)<br>27日(土) 北見地区父母懇談会<br>28日(日) 旭川地区父母懇談会                 | <b>12月</b> | 1日(木) 『後援会だより』第127号発行<br>16日(金) クリスマス礼拝<br>26日(月) 年末授業最終日                 |
| <b>5月</b> | 2日(月) 学園創立記念日<br>9日(月) スミス・ミッションウィーク<br>(~13日)<br>18日(水) 後援会第1回役員会<br>28日(土) 後援会総会・懇親会 | <b>9月</b> | 3日(土) 釧路地区父母懇談会<br>4日(日) 帯広地区父母懇談会<br>10日(土) 函館地区父母懇談会<br>11日(日) 苫小牧地区父母懇談会<br>15日(木) 後期授業開始<br>30日(金) 前期末卒業式 | <b>1月</b>  | 18日(水) 後援会第2回役員会<br>23日(月) 後期授業終了<br>24日(火) 後期定期試験(~31日)<br>3日(金) 卒業生名簿発表 |
| <b>6月</b> | 1日(水) 『後援会だより』第125号発行<br>3日(金) 体育祭(~5日)  |           |   | <b>3月</b>  | 14日(火) 卒業礼拝<br>15日(水) 卒業式<br>『後援会だより』第128号発行                              |

## WEBサイトから地区別父母懇談会の申込みができます!

昨年度、北星学園大学のWEBサイトを全面リニューアルし、後援会のページもご父母会員の皆様にご利用しやすいように生まれ変わりました。7月から開催される地区別父母懇談会の参加申込みもWEBサイトからできますので、ぜひご利用ください。

### WEBでの申込み方法

1 北星学園大学WEBサイト (<http://www.hokusei.ac.jp/>) をお開きください。



2 メニューより、「一般・卒業生の方」をクリック

3 「地区別父母懇談会」をクリック

4 地区別父母懇談会の申し込みフォームに必要事項を記入し、お申込みください。



## 2016年度

### 地区別父母懇談会のお知らせ

今年度の地区別父母懇談会は下記の日程で計画しております。内容は、大学についての情報提供、学生の修学状況、昼食を兼ねての父母同士の懇談、さらに個別に学生の修学状況(単位修得状況)や生活状況、就職関係の相談となっております。

各々が履修している授業科目等がわかる「履修登録票」や「授業科目別出席状況」、前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」などを個別に用意しており、それに基づいて担当教員より説明を聞くことができます。毎年、参加された皆様からは大変好評を頂いております。(ただし、個人情報保護に関する法律により、成人となった学生本人が

所定の手続きにより同意しない旨申し出た場合は、修得単位数等、修学状況に関する情報を保証人にお伝えすることができないこともあります。

地区別父母懇談会は北星学園大学後援会の事業の一環で、皆様からの会費により運営しております。多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

詳細につきましては、6月中旬に別途ご案内させていただきます。また、先に3・4年次(短期大学部)については2年次(短期大学)にご案内いたしました、7月2日(土)札幌会場での懇談会は、締切(6月13日)が近づいております。参加ご希望の方はお忘れなくお申込み願います。

|            |       |                              |
|------------|-------|------------------------------|
| 7月 2日(土)   | 札幌会場  | 北星学園大学校舎(大学3・4年次、短期大学部2年次対象) |
| 8月 27日(土)  | 北見会場  | ホテル黒部                        |
| 8月 28日(日)  | 旭川会場  | 旭川グランドホテル                    |
| 9月 3日(土)   | 釧路会場  | 釧路プリンスホテル                    |
| 9月 4日(日)   | 帯広会場  | ホテルグランテラス帯広                  |
| 9月 10日(土)  | 函館会場  | 函館国際ホテル                      |
| 9月 11日(日)  | 苫小牧会場 | グランドホテルニュー王子                 |
| 10月 22日(土) | 札幌会場  | 北星学園大学校舎(全学年対象)              |

※ お子様を同席させての三者面談は行いません。

**あともがき**

北海道も初夏の爽やかな風を感じられる季節となりました。キャンパス内は、木々の緑も色濃くなり、学生たちが楽しそうに行き交う姿であふれています。新入生も大学生活に慣れてきた様に見受けられます。

さて、7月2日(土)には第1回札幌地区父母懇談会が本学にて開催されます。修学・就職状況について個別に詳しく聞くことのできる機会

となっておりますので、これまで出席したことがないという方も是非ご参加いただければと思います。

また、8月下旬から始まる地区別父母懇談会も、皆様に満足していただけるよう、今年準備を進めております。今年度も多くの会員の皆様にお会いできることを楽しみにしております。

(後援会事務局 西藤・大津)

**北星学園大学 教育振興寄付金ご芳名**

募金のご協力に深く感謝申し上げます。

2016年2月1日から4月30日まで

(敬称略)

☆大学・短期大学部

|       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 酒井 玲子 | 武藤 陽一 | 高島 大野 | 和喜 和喜 | 大山 綱夫 |
| 高島 和喜 | 武藤 陽一 | 高島 大野 | 和喜 和喜 | 大山 綱夫 |

(父母・旧教職員・理事・教職員)

## ホストファミリー 大募集!

### 短期宿泊プログラム協力ファミリー

北星学園大学では交換留学生のホストファミリーを募集しております。受け入れていただくのはアメリカとカナダからの留学生ですが、英語は必ずしも条件ではありません。受け入れ期間は1学期(およそ13週間)で、その間の食住費として一定額の補助をさせていただきます。多くの留学生が日本で一番印象に残った体験としてホームステイを挙げています。ホストファミリーとして登録していただきますと、春と秋に受け入れについての照会を大学からさせていただきます。ご都合の良い場合には受け入れをお願いするというシステムになっています。

また、イギリス、カナダ、スペイン、スイス、韓国、台湾、中国、インドネシアとも交換留学しており、これらの交換留学生については、例えば、2泊3日の宿泊体験プログラムなど実施する場合がありますので、合わせて募集しております。

皆様のご家庭でも留学生を迎えて国際交流してみませんか? 本学のホームページから国際教育センターのサイトをご覧ください。ご協力をお願いいたします。

お問い合わせは下記のとこまで・・・

**北星学園大学 国際教育課**  
 電話(代表) : (011) 891-2731 FAX : (011) 895-2500  
 ホームページ : <http://www.hokusei.ac.jp/international/homestay/>